

経 済 の 動 き*

【全体感】

東北地域の景気は、弱めの動きが広がっているものの、緩やかな回復を続けている。最終需要の動向をみると、個人消費は、消費税率引き上げなどの影響による振れを伴いつつも、底堅く推移している。また、設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。一方、公共投資は、高水準ながらも減少しているほか、住宅投資は、高水準ながらも一段と減少している。こうした中、生産は、弱含んでいる。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。

【各 論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、震災復旧・復興関連工事を主体に高水準ながらも減少している。

設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

12月短観（東北地区）における2019年度の設備投資をみると、製造業では、一部に外需の鈍化を反映して投資計画を見直す動きがみられるものの、維持・更新投資に加え、需要増加を受けた能力増強投資や新製品対応投資がみられている。一方、非製造業では、一部に新規出店等で投資を積み増す動きがみられるものの、前年に実施した大規模投資の反動減がみられており、全体では前年を下回る計画となっている。

個人消費は、消費税率引き上げなどの影響による振れを伴いつつも、底堅く推移している。

主要小売業販売額は堅調に推移している。内訳をみると、スーパーは横ばい圏内の動きとなっているほか、コンビニエンスストアやドラッグストアは増加している。一方、百貨店は弱めの動きとなっている。耐久消費財をみると、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の後、足もと反動減などがみられているものの、家電販売額や乗用車販売は底堅く推移している。

住宅投資は、震災復興需要のピークアウトに加え、貸家着工に弱めの動きがみられることから、高水準ながらも一段と減少している。

* 直近の金融経済統計および企業ヒアリングをもとに、東北地区6県（青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島）の金融経済情勢を取り纏め。

▼日本銀行仙台支店HPへのアクセス

当店HPでは「経済の動き」を始め、東北経済に関する様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。



2. 生産

生産（鉱工業生産）は、弱含んでいる。

主要業種別にみると、輸送機械は、生産水準を引き下げている。電子部品・デバイスや生産用機械等は、下げ止まっている。この間、食料品は、低調な動きとなっている。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境は、改善している。

労働需給は引き締まっており、雇用者所得は緩やかな増加基調にある。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。

5. 企業倒産

企業倒産は、低水準ながらも増加基調にある。

6. 金融情勢

預金動向をみると、公金が前年を下回っているものの、個人・法人が前年を上回って推移していることから、全体では前年を上回っている。

貸出動向をみると、個人向け、法人向けの増加を背景に全体でも前年を上回っている。この間、貸出金利は低下している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行仙台支店営業課 TEL：022-214-3120
